Be サポートの主な活動

■相談・カウンセリング事業■

★カウンセリング・プレイセラピー・心理検査・発達検査（各有料）など

■発達障害支援事業■

★障害児・者総合サポートセンター「みつばち」の運営

■医療・福祉・保健・教育機関への協力事業■

★静岡県精神保健支援センター　ひきこもり相談

★教育委員会の就学指導委員会・特別専門家会議（函南町）、特別支援教育巡回相談（伊豆市）

★市町の乳幼児健診、発達相談（伊豆市、伊豆の国市、熱海・伊東市、清水町、函南町）

★市民メンタルヘルス相談（伊東市）

★NPO 法人静岡犯罪被害者支援センターへの協力

■企業・事業所への支援事業■

★メンタルヘルスカウンセリング業務委託

★メンタルヘルス研修会への講師派遣

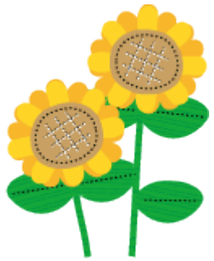
■研修事業■

★会員、援助職対象の定期勉強会の開催　　「子どものそだち研修会」

★一般市民対象の講演会開催（発達障害支援、不登校・ひきこもり支援）

■被災者支援活動■

★東日本大震災被災地から転居している方々のためのサポート活動「OHANA」



★★　今後の予定　★★

★夏休み「OHANA 学校」

東日本大震災後、静岡県東部地区で生活しているご家族のサポート活動「OHANA」では、学校の夏休みなどの長期休暇の期間、お子さんをお預かりする事業を行っています。

期間：7 月 25 日（金）～8 月 29 日（金）（土日を除く）

時間：9:00～16:00

場所：当法人施設「みつばち」

★発達支援講演会　8 月 10 日（日）　13:00～17:00　　於：沼津労政会館

沼津中央病院医師渡邊瑠衣先生をお招きして発達に偏りのある子どもへの支援についての講演を行います。

★「OHANA」　秋の箱根バス旅行　　10 月 18 日（土）～19 日（日）

紅葉や温泉など箱根の秋を満喫したバス旅行で、日頃の疲れを癒しましょう。

新規会員募集

Be サポートは、こころの健康増進と生活の質の向上のため、地域貢献を目的とした団体です。私たちの活動を応援していただける方を会員として広く募集しています。

会員様には、会報誌「クローバー通信」の送付や、定期研修会にの参加費無料などがあります。また、活動の協力をお願いすることもあります。

会員動向（2014 年3月～6 月末）

２名の方が仲間に加わりました

正会員４８名　賛助会員１４名

（お詫びと訂正　VOL.5 の会員と賛助会員の数が違っていました。）

助成・寄贈ありがとうございます

★ イオン「幸せの黄色いレシートキャンペーン」商品券

★ 静岡県地域自殺対策緊急強化基金事業費　補助金

★ 平成 26 年度福島県ふるさとふくしま帰還支援事業

★ 会員今井様より　物品等寄贈

編集後記　今年は空梅雨のようで、あっという間に夏を迎えました。このクローバー通信が皆さんのお手元に届く頃、学校は夏休みまっただ中です。昔は、夏休みになると外の至るところで子どもの声がしてにぎやかでしたが、この頃は、セミの声ばかりが騒がしいです。今どきの子どもはクーラーの効いた部屋の中でゲームをしていることでしょう。でも、夏休み終わりになると慌てて宿題をやり始める姿は昔も今も変わらないですね。

特定非営利活動法人　臨床心理オフィス　Be サポート

クローバー通信

2014 年８月１日発行　Vol.6

Beサポート

〒410-0056
沼津市高島町 29-11 盟萌ビル 201
Tel&Fax　055-925-1701
E-mail　be-sapo@mail.wbs.ne.jp
URL　http://be2011.jimdo.com/
発行責任者　皆川　行寛

～Ｂｅサポート４年目を迎えて～

生きがい創成の相談サービスへ

静岡大学大学院人文科学研究科教授

江口昌克　先生

静岡県東部地区における臨床心理相談サービスの核として誕生した「臨床心理士オフィス Be サポート」も開設から４年目。後方から応援することしかできない私ですが、その活動は着実に地域へ展開・浸透されていると実感しています。あらためて皆川理事長はじめスタッフの方々の並々ならぬご苦労やご努力の賜と思っています。

さて、開設以来 Be サポートが取り組んでいる、各世代を対象とした幅広い支援活動も、裏を返せば、種々（健康医療・福祉・教育・労働領域等）のサービスの不足をニーズとして捉え、それに応えてきた結果だと思われます。家族やコミュニティの中で行われていたことが個人単位に変わる社会になってきており、一昔と比較すれば、弱体化する機能を代替する社会制度が確かに作られてきています。しかし、制度があれば問題が解決する訳ではありません。実際には、対象者を必要なサービスにつなぎ、それを利用してどのように生活していくかをともに考え、協働する人の存在が不可欠です。まさにそのようなシステムの中核を担う専門職集団として Be サポートがあるのではないでしょうか。

人は社会の様々な局面で自分らしさを発揮しようとしますが、その本質には「遊ぶこと」、「働くこと」、「学ぶこと」、「教え・育てること」といった活動（または役割）が存在します。それは一方に偏るのではなく、一日の中で、一年の中で、そして人生を通じてバランスのとれた遂行ができれば言うことはありません。しかし、それはなかなか上手くいかず、時には苦痛を感じたり、時にはその場所・役割を喪失し希望をなくしてしまうことがあります。心理的支援は、その人らしさを支え、新たな役割・生きがいを創成していく大切な関わりのひとつなのだと思います。「希望」よりももっとダイナミックな、「心弾む」思いを持てるような関わりをぜひ続けてもらいたいと思います。折しも『公認心理師法案』が国会に提出され、心理職の国家資格化が目前になっている現在、ますます高まる社会的負託に応えるべく、関わりの質・関係機関との連携の質をさらに向上し、サービスを進めていってもらいたいと願っています。